

# 名鉄新那加駅駅前広場のデザイン

**代表者** 芸術工学研究科 教授 大野暁彦

**連携・協力者** 各務原市

**ポイント** 学生を中心とした提案により居心地の良い駅前広場を実現

## 1. 概要

令和6年度に各務原市景観アドバイザーを務めた芸術工学研究科教員・学生らが名鉄新那加駅南口の駅前広場の設計について検討・協働しました。

## 2. 活動内容

学生を中心に人が憩える滞留空間を提案しました。提案内容は大きな模型にしてまとめ、市長にも直接提案を行い、市に模型を寄贈。このデザイン設計を基に駅前広場が完成されました。

この駅前広場の特徴は、単なる交通の乗り換え機能ということだけでなく、人が交流できる場所を設置したことにあります。その最大のポイントがマイクロライブラリーです。岐阜にまつわる本や、地域・まちづくりの本を中心に、小説やエッセイ、雑誌など幅広いジャンルの本が置かれています。

## 3. 成果

新たな駅前広場として、バスの待合や待ち合わせの場所として利便性が高まりました。完成後も地元の学生をはじめ、日頃から多くの方々に利用いただいています。たくさんの居場所ができたことで列車待ちや送迎待ちの人、友人同士の交流の場など多様なアクティビティがみられます。



駅前広場の様子